

第十三号  
（新年号）



# ふるさと通信

平成27年1月7日発行  
鶴岡市温海庁舎総務企画課

## 一霞集落が 農林水産大臣賞受賞

平成26年度 豊かなむらづくり全国表彰事業  
東北ブロック表彰式



「平成26年度豊かなむらづくり全国表彰事業」において、一霞集落が「東北ブロック農林水産大臣賞」を受賞し、11月18日（火）仙台市のKKRホテル仙台で表彰式が行われました。



一霞集落は400年以上の歴史を持つ温海かぶの原産地ですが、「焼畑温海かぶ400年の時をつないだ結いの里」をテーマに、伝統農法の継承や加工販売、品質向上への取組み、「21世紀かぶ祭りin一霞」や「一蕪（ひとかぶ）入魂の会」による販売や焼畑ツアー等のイベントを通じて、集落内の絆を強めた取組みが評価されたものです。

「焼畑温海かぶ400年の時をつないだ結いの里」をテーマに、伝統農法の継承や加工販売、品質向上への取組み、「21世紀かぶ祭りin一霞」や「一蕪（ひとかぶ）入魂の会」による販売や焼畑ツアー等のイベントを通じて、集落内の絆を強めた取組みが評価されたものです。

## 日本の自然布展in関川 「手業の極致」



11月15・16日、国指定伝統的工芸品である「しな織」の魅力発信のため、全国古代織産地連絡会が主催する日本の自然布展を関川しな織センターで開催し、全国10産地工房が集まって古代織のレクチャーを行ったほか、展示販売も行われました。全国から来たツアー参加者からは、鶴岡市の観光資源の豊富さや料理の美味しさ、人の温かさ（おもてなし）に対し賛辞の声やお手紙を頂戴しました。

## 新年明けましておめでとうございます

新年を迎え、ふるさと温海会会員の皆さまには益々ご清祥にてご活躍のこととお喜び申し上げます。ふるさととの新年は悪天候が心配されましたが、大きな事故もなく穏やかな新年を迎えることができました。しかし年末の大雪の影響もあって山間部では正月前にすでに雪下ろしが行われており、この日も屋根の上に雪下ろしをする人々の姿が見られました。これから本格的な冬を迎え、全国的に雪下ろし中の事故が報じられておりますが、事故のないよう願っております。

温海地域も人口減少が続く厳しい状況が続いておりますが、「冬来たりなば春遠からじ」雪はいつか融けます。雪が融ければ次は明るい春が待っています。温海庁舎も地域の活性化に向けて一丸となって頑張っておりますので、会員の皆さまのご指導、ご協力をお願い申し上げます。

今年ふるさと温海会は結成30周年。ふるさと温海会の益々のご隆盛と会員皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。



1月5日撮影：関川集落

## 新・消防温海分署完成間近

現在釜谷坂地内の国道7号沿いにある消防温海分署は昭和48年に設置されたものですが、建物の老朽化や津波災害対策のため湯温海地内への新築移転が進められており、間もなく完成の予定となっております。新しい分署は日東道あつみ温泉ICからあつみ温泉に入る交差点に位置し、向かいには温海交番所もあり、火災などの災害や救急出動に迅速な対応が可能となります。また、近くにはあつみ保育園や温海小学校・中学校、老人福祉施設などの公的施設もあり、高齢化が進む温海地域において、住民の安全・安心を守るための拠点としてその活躍が期待されます。



## 道の駅しゃりん「しゃりん寒鱈まつり」開催！

日本海を目の前に望む道の駅「あつみ」しゃりんにて、目の前に広がる日本海で獲れた、鼠ヶ関海水揚げ直送の寒鱈が味わえます！！味噌仕立てで作った名物「寒鱈汁」をご賞味ください！！

○日時：平成27年2月1日（日）午前10時から（売切れ次第終了！）

○会場：道の駅「あつみ」しゃりん

○販売メニュー：・寒鱈汁（限定500食）・鮮魚の販売 ・その他特産品

○お問合せ：道の駅「あつみ」しゃりん 電話0235-44-3211



## 温海旬御膳「冬のごっつおめぐり」開催！

～冬は温海であつたまろっ！～

◎実施期間：平成27年1月17日（土）～2月28日（土）・・・

温海地域12軒で旬の味あふれる「ごっつお」をご提供いたします♪

各店共通食材として日本海の旬の『カニ』を使ったお料理が付きます。

◎参加店

【あつみ温泉旅館】あさひや旅館、東屋旅館、あつみホテル温海荘、かしわや旅館、瀧の屋、たちばなや、萬国屋

【あつみ温泉飲食店】足湯カフェチットモッシュェ 【温海地区】寿司割烹雅 【鼠ヶ関民宿】民宿咲

【鼠ヶ関飲食店】鮎処朝日屋、シーサイドカフェチットモッシュェ

◎お1人様料金

【あつみ温泉旅館】3,000円（消費税込、温泉入浴付き！！）

【民宿・飲食店】2,500円（消費税込）

◎お問合せ：あつみ観光協会 電話0235-43-3547



## 鶴岡市指定無形民俗文化財

### 小国八幡宮弓射神事

と き：平成27年2月22日（日）午前9:00（予定）

と ころ：小国ふる里ふれあい村（旧小国小学校）

主 催：小国八幡宮弓射神事保存会

約450年の伝承を誇る「小国八幡宮弓射神事」が5年ぶりに公開されます。少子高齢化の影響で射手の育成・確保が厳しくなっていますが、保存会では何とかこの貴重な文化財を継承しようと頑張っています。

【小国弓の概要】小国弓の起源は不詳ですが、永禄10年（1567年）、弓書（巻物）2巻が授与され、このころから盛大になったものと思われます。その後小国城主の奨励もあり、年中行事とし世に知られるようになります。流儀については、古老の話では小笠原古流ではないかといわれています。しかし、その独特の射式から日置（へき）流ではないかとも思われますが、現在ほどの流派にも属さない「小国一流射式」として受け継がれています。神事は、戦時中に一時途絶えましたが、地区民の熱意により昭和33年に復活、昭和61年には「温海町無形民俗文化財」の指定を受けています。現在神事は、3年に1度、屋外に雪で矢場を作り、袴姿の若者が寒風の吹く中、片肌脱ぎの格好で奉納されています。



## あとがき

平成26年12月1日 鶴岡市は、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の「創造都市ネットワーク」食文化分野での加盟が認定されました。食文化分野での加盟は日本で初めてとなります。今後は、ユネスコが認める世界の食文化創造都市として、鶴岡の食文化をもとにした世界交流や、地域活性化のための施策を一層強力に推進していくこととしています。



食文化といえば「トコロ（野老）」をご存知でしょうか。小さいころは我が家でも薪ストーブの上で大きな鍋で煮て食べているのをよく見かけましたが、最近は正月にもらって食べる程度になりました。苦みがあって私はあまりおいしいとは思いませんが、好きな人にはやめられないようです。この「トコロ」調べてみるとヤマノイモ科の植物で「オニドコロ」という種類のように、全国的にみられるようです。古くは飢饉などの食糧難の時に食べられたものですが、有毒性もあり多く食べると喉や胃腸に炎症を起こすそうで、食べ過ぎには要注意！です。

温海地域にもこのように今はあまり食べられなくなったものが多くあります。わざわざ山・川・海に採りに行くまでもなく、スーパーにはおいしい食材が豊富に並んでいます。温海伝統の食文化を守り続けることは容易ではありませんが、住民一人ひとりがその価値を認識し、守り続けていかなければなりません。温海地域ではこれから食に関するイベントが多く開催されます。懐かしいふるさと温海の味覚を味わってみてはいかがでしょうか。

担当：鶴岡市温海庁舎総務企画課 課長補佐 五十嵐浩一